



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第12号 平成26年(2014年) 6月1日発行



3月3日(月) 旧下郷小学校 社会科学習(本会議場にて)

主な内容

○ 審議された議案等	2 ~ 3
○ 議案の内容	3 ~ 5
○ 一般質問	6 ~ 11
○ 委員会報告	12 ~ 13
○ 行政視察レポート	14 ~ 15
○ 編集後記	16

発行 / 美祢市議会

編集 / 議会だより編集委員会

〒759-2292 山口県美祢市大嶺町東分326-1 TEL. (0837) 52-1117

平成26年第1回(3月)美祢市議会定例会 3月4日~3月25日

第1回美祢市議会定例会は3月4日(火)に開会し、専決処分についての報告1件をはじめ、専決処分の承認1件、平成25年度一般会計補正予算1件、国民健康保険事業などの特別会計補正予算4件、病院等事業などの公営企業会計補正予算2件、条例の制定4件、条例の一部改正8件、また平成26年度の美祢市一般会計予算、特別会計予算7件、公営企業会計予算3件、その他の議案など、合わせて37議案が上程されました。そのうち、専決処分、人事案件に関わる議案4件については、同日承認、同意いたしました。

各議案は予算委員会(3月10日~12日)、教育民生建設観光委員会(3月13日)、総務企業委員会(3月14日)にそれぞれ付託され、集中審議が行われました。

3月25日(火)の本会議において、討論・採決が行われ、それぞれの議案は原案の通り可決されました。また同日、専決処分の報告1件、議案1件が追加上程され、そのうち、議案については所管の委員会で審議をしたのち、本会議において討論・採決が行われ、原案の通り可決し、閉会しました。

審議された議案等

3月市議会定例会(3月4日~3月25日)

報告第1号	損害賠償の額を定めることに関する専決処分について	
報告第2号	損害賠償の額を定めることに関する専決処分について	
議案第1号	専決処分の承認について(平成25年度美祢市一般会計補正予算(第9号))	承認
議案第2号	平成25年度美祢市一般会計補正予算(第10号)	可決(賛成多数)
議案第3号	平成25年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第4号	平成25年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第5号	平成25年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
議案第6号	平成25年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第7号	平成25年度美祢市病院等事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第8号	平成25年度美祢市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第9号	平成26年度美祢市一般会計予算	可決(賛成多数)
議案第10号	平成26年度美祢市国民健康保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
議案第11号	平成26年度美祢市観光事業特別会計予算	可決
議案第12号	平成26年度美祢市環境衛生事業特別会計予算	可決
議案第13号	平成26年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計予算	可決
議案第14号	平成26年度美祢市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第15号	平成26年度美祢市介護保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)

議案第 16 号	平成 26 年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決 (賛成多数)
議案第 17 号	平成 26 年度美祢市水道事業会計予算	可決
議案第 18 号	平成 26 年度美祢市病院等事業会計予算	可決
議案第 19 号	平成 26 年度美祢市公共下水道事業会計予算	可決
議案第 20 号	美祢市公共施設あり方検討委員会条例の制定について	可決
議案第 21 号	美祢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議案第 22 号	美祢市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決
議案第 23 号	美祢市手数料条例の一部改正について	可決
議案第 24 号	美祢市すこやか子育て基金条例の制定について	可決
議案第 25 号	美祢市社会教育委員設置条例の一部改正について	可決
議案第 26 号	美祢市青少年問題協議会条例の一部改正について	可決
議案第 27 号	美祢市立秋吉台科学博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第 28 号	美祢市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第 29 号	美祢市営住宅条例の一部改正について	可決
議案第 30 号	美祢市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	可決
議案第 31 号	山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決
議案第 32 号	美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更について	可決
議案第 33 号	桂岩辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の一部変更について	可決
議案第 34 号	美祢市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について	可決
議案第 35 号	美祢市固定資産評価審査委員会補欠委員の選任について	同意
議案第 36 号	美祢市教育委員会委員の任命について	同意
議案第 37 号	美祢市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第 38 号	美祢市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	可決

平成25年度予算の補正について

○専決処分の承認について

前山口県知事の辞職に伴い、本年2月23日に執行された山口県知事選挙に関わる経費について補正されたものです。

○平成25年度美祢市一般会計補正予算(第10号)

決算見込みによる予算の過不足調整、国の経済対策に呼応した予算の計上、繰越明許費の設

定、債務負担行為の補正及び地方債の補正を行うものです。

○平成25年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

○平成25年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

○平成25年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

決算見込みによる予算の過不足調整を行うものです。

○平成25年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第3号)

平成25年度に実施した、市民入洞無料事業等の収入補てん金について、一般会計から繰入するため、補正を行うものです。

○平成25年度美祢市病院等事業会計補正予算(第1号)

決算見込みによる収入と支出の減額補正、機器購入に係る支出の減額及び財源の変更を行うものです。

○平成25年度美祢市公共下水道事業会計補正予算(第1号)

決算見込みによる収入と支出の減額補正を行うものです。

新年度予算について

●平成26年度一般会計予算

予算総額は、153億2,100万円で、対前年比2.2%の増となりました。

市民が「夢・希望・誇り」を持って暮らせる交流拠点都市美祢市の実現に向け、限られた財源をより効果的・効率的に活用するため、今年度より新たな予算編成制度が導入されており、市民ニーズの的確な把握と施策の優先順位の明確化が図られた、予算配分になっています。

○平成26年度美祢市国民健康保険事業特別会計予算

予算総額は38億5,727万8,000円で、対前年比0.2%の増となりました。

○平成26年度美祢市観光事業特別会計予算

予算総額は6億6,385万5,000円で、対前年比5.2%の減となりました。

○平成26年度美祢市環境衛生事業特別会計予算

予算総額は2,791万8,000円で、対前年比3.4%の減となりました。

○平成26年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計予算

予算総額は181万8,000円で、対前年比0.3%の増となりました。

○平成26年度美祢市農業集落排水事業特別会計予算

予算総額は2億3,132万4,000円で、対前年比2.3%の減となりました。

○平成26年度美祢市介護保険事業特別会計予算

予算総額は31億5,829万6,000円で、対前年比9.3%の増となりました。

○平成26年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計予算

予算総額は4億7,993万1,000円で、対前年比11.8%の増となりました。

公営企業会計の平成26年度予算について

○平成26年度美祢市水道事業会計予算

年間給水量を291万1,150m³を見込み、収益的収入総額を7億7,564万6,000円とするものです。

○平成26年度美祢市病院等事業会計予算

入院及び外来の一日平均患者数などの見込みから、収益的収入総額を43億1,555万4,000円とするものです。

○平成26年度美祢市公共下水道事業会計予算

年間総処理水量を108万4千m³を見込み、収益的収入総額を8億1,905万4,000円とするものです。

条例制定について

○美祢市公共施設あり方検討委員会条例の制定について

公共施設の改修や建て替えについて、将来の社会環境に応じた整備計画等を策定する必要があることから、本検討委員会を設置するため、条例を制定するものです。

○美祢市すこやか子育て基金条例の制定について

本市で安心して子どもを産み育てられる環境を整備や、子育て支援事業の振興を図る財源として、本基金を創設するため、条例を制定するものです。

○美祢市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について

消防組織法の一部改正に伴い、消防長及び消防署長の資格を定める条例を制定するものです。

○美祢市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について

地方公務員法の一部改正に伴い、条例を制定するもので、内容は、外国で勤務する配偶者との生活を希望する職員に対し、公務に支障がないと認められた場合に、期間を設けて休業を承認するものです。

◎条例の一部改正について

○美祢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

平成18年の給与構造改革における給与引き下げに対して、現給を保障する経過措置を設けていましたが、これを廃止するため所要の改正を行うものです。

○美祢市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

地方独立行政法人法の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

○美祢市手数料条例の一部改正について

火薬類取締法における許可事務に関する政令の一部改正に伴い、事務手数料が改定されたため、条例の一部改正するものです。

○美祢市社会教育委員設置条例の一部改正について

○美祢市青少年問題協議会条例の一部改正について

法律改正に伴い、所要の改正を行うものです。

○美祢市立秋吉台科学博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成27年度より年末年始に加え、毎週月曜日を休館とするため、所要の改正を行うものです。

○美祢市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

市内に4か所ある施設の使用料について、消費税の表示を税抜きに統一するため、所要の改正を行うものです。

○美祢市営住宅条例の一部改正について

市営住宅下領団地の建て替えに伴い、所要の改正を行うものです。

◎その他の審議事項

○山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について

山口県市町総合事務組合から、一部の組合を脱退させるため、規約の一部を変更するものです。

○美祢市過疎自立促進計画の一部変更について

過疎自立促進計画の事業計画に福祉医療助成事業、スクールバス運行事業など、8事業を追加するものです。

○桂岩辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の一部変更について

美東町桂坂、岩波地域の辺地総合整備計画に市道岡村正の田線を追加するものです。

○美祢市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について

消費税の引き上げ、また、協定相手の社名の変更により、新たに協定を締結するものです。

○美祢市固定資産評価審査委員補欠委員の選任について

委員欠員のため、本年1月20日付けで津村正次氏を補欠委員に選任したことについて、事後の同意をしました。

○美祢市教育委員会委員の任命について

本年5月21日に任期満了となる委員について、前田耕次氏を再任することに同意しました。

○美祢市固定資産評価審査委員会委員の選任について

本年5月21日で任期満了となる委員について、宮崎保氏、津村正次氏、藤永和之氏を再任することに同意しました。





(日本共産党)
みよし むつこ 議員
三好 睦子

1 ジオパーク活動の推進について

問 秋吉台の周辺には、地形・地質がつくりだした集落と自然が織りなす神秘的な風景があります。白・黒・赤ばかりではなく、これらをもっと効果的にアピールできないでしょうか。

答 現在、日本ジオパーク認定への再申請に向けて、本市のジオパーク構想を再構築しています。

本市ジオのアピール方法については、地質学、科学だけではなく、経済活動に関することも含めて、市民の方々の有益性を考えることが大切です。今後、山口大学や日本ジオパーク委員会等のご意見を伺いながら、成果が得られるものになりたいと思います。

問 ジオパーク事業で市民が経済的に豊かになるための、次のような支援をしてはいかがでしょうか。

- 1 秋吉台上やすそ野に広がる大地で収穫された農産物の活用とドリーネ畑や草原の維持活動に対する支援。
- 2 地元農産物の販路を市内に求め、地域で経済を循環させるための支援。
- 3 人にも環境にも優しい農産物の生産。^{ぬか}糠・^{もみ}糲・廃食油等での有機肥料作り事業に関する支援。
- 4 農産物直売所の増設に関する支援。
- 5 荒廃農地・遊休農地を活用して四季折々の花を咲かすなどの活動に対する支援。

答 今年度、ジオ活動の推進を目的とする市民団体に対して補助金を交付する、美祢ジオパーク活動応援事業を新設しました。

これは、自然環境の保護・保全活動や教育、普及、魅力向上の取り組みなど、市民の皆様が

発案されたジオ活動についてご支援させていただくものです。ぜひ、この制度をご活用いただきたいと思います。

2 介護保険制度について

問 国の度重なる介護報酬引き下げは、介護の現場の労働条件を厳しくし、深刻な人手不足や事業所の経営難にもつながっており、サービスを受ける側も提供する側も大変な状況です。

第6期介護保険事業計画は、こうした状況が改善される内容になるでしょうか。

答 第6期介護保険事業計画について、国が示す指針案では、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の見直しと充実、また介護サービスの効率化、重点化が掲げられています。最終的な決定はこれからといった状況ですので、市としては国の動向を見据えながら具体的な計画を策定することにしていきます。



秋吉台のドリーネ畑



(友善会)

つばい やすお
坪井 康男 議員

1 地方公務員の給与カットに関する地方交付税の削減額について

問 政府は昨年1月、東日本大震災の復興財源確保のため、国家公務員給与の平均7.8%カットを決め、地方公務員の給与も足並みを揃えてカットするよう要請しましたが、県内19市町のうち美祢市など6市町はカットしませんでした。

仮に美祢市が山口県並みの給与削減をした場合、本年3月末で約1億8500万円の削減額になると私は試算しています。平成25年度末現在、地方交付税が、一体、いくら減額されたかお尋ねします。

また、たとえ地方交付税減額の数字が明確ではないとしても、国の指導のもとに約7割の地方自治体が公務員給与を削減したと報道されています。

私は、給与を実際に削減しなかった美祢市においては、人件費以外のところにしわ寄せされていると考えています。

答 昨年の9月議会では、交付税額を算定する際に必要となる段階補正、普通態容補正等の係数にかかわる影響額や、算出方法が国のほうから明らかにされていないこと。また、給与費以外の需要の増減や収入増減等を踏まえて算定されていることから、その額を正確に把握することは困難であると答弁いたしました。

その後においても関係機関等に対して、情報収集を鋭意行っていますが、9月議会で答弁した以上の情報は、国のほうから出ていません。

2 給与カット拒否市町村に補助金減額の「制裁」が科せられるか

問 新聞報道によると政府は、国の給与カット要請を拒否した市町村に対する見せしめとして、本年5～6月に支給予定の「がんばる地域交付金」(国の平成25年度補正予算、総額870億円)を減額する方針だと伝えられていますが、真偽についてお伺いします。

答 この「がんばる地域交付金」は、対象を財政力の弱い市町村に絞って、支援措置を行うことに特化した交付金です。

総務大臣が閣議後の記者会見で、この交付金の配分基準について発言されたことを受け、国の要請による給与削減を実施した市町村には最大4割を支援し、応じなかった市町村は原則3割の補助にとどめるとの一部報道がなされました。

しかし、後日の記者会見で総務大臣は、交付金は財政力指数に応じた地方負担額の3割補助を基本として、行政改革の努力に応じて最大1割を加算するものであるとされました。

つまり、給与水準や職員数の削減率等によっては、1割の加算もあり得ると説明され、制裁目的の減額措置とした一部報道を強く否定されています。

美祢市においては、緊急かつ優先的な対応が必要と判断し、県営土地改良事業を申請することにしており、4割が補助されることを期待しています。





(新政会)
ばん だい やす お
萬代 泰生 議員

1 有害鳥獣対策に関すること

問 農林産物の被害状況と鳥獣捕獲状況について、平成23年度からどのように変化してきたかお尋ねします。

答 平成24年度の被害総額は、2,702万円です。平成23年度に比べて319万円減少しています。

作物別では水稲60%、野菜・穀類11%、果樹2%、森林等27%の状況となっています。

次に平成24年度の捕獲状況は、イノシシ1,733頭、鹿327頭、猿23頭の合計2,083頭で平成23年度に比較しますと166頭の増加となっています。

問 下関市に建設された鳥獣の処理施設「みのりの丘ジビエセンター」との連携についてお尋ねします。

答 みのりの丘ジビエセンターは、平成25年4月18日に開設され、年間にイノシシ310頭、鹿290頭、合計600頭の食肉処理が可能な施設です。開設後11ヶ月が経過していますが、安定的な人員体制や受け入れ能力が整っていないことから、現在のところ他市からの受け入れは難しいとの回答を受けています。

問 県有害鳥獣捕獲マイスターについて、美祢市での認定者数と今後の課題をお尋ねします。

答 山口県有害鳥獣捕獲マイスター制度は、鳥獣捕獲の強化、担い手の確保・育成の促進を図ることを目的に、平成23年7月15日に制定され、現在美祢市では、美祢地域に6名、美東地域に3名、秋芳地域に3名の計12名が認

定されています。

今後はマイスターを中心とした技術研修会や集落等へ出向き指導講習会を実施するなど、有害鳥獣対策室が先頭に立ち、また、関係団体との連携を密にして、鳥獣被害の減少に努めていきたいと考えています。

2 小中学校の統廃合に関すること

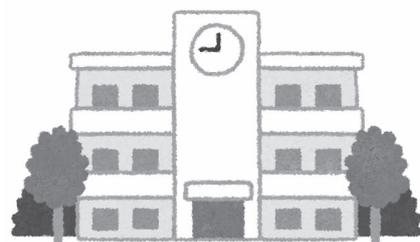
問 小中学校の統廃合に関する基本方針の内容と今後の予定についてお尋ねします。

答 全国的な少子化の中で、本市においても急速な児童・生徒の減少に伴い、市内小中学校の多くが小規模化しており、学校の再編統合は避けて通れない現実的な問題であると考えています。

このため、教育委員会では平成24年度に設置した、美祢市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会の答申とともに、美祢市議会の小中学校の適正規模・適正配置調査特別委員会の報告を踏まえ、平成26年2月に基本方針を策定いたしました。その要点は、

- ①小学校はできるだけ複式学級が解消され、単式学級が確保できるよう努めること。
- ②中学校では、1学年に複数の学級があることが望ましいことから、それを目指しながらも、今後段階を追って検討していくこと。
- ③再編統合にあたっては、行政主導で一方的に推し進めるのではなく、地域、保護者の方々のご意向を尊重すること。としております。

なお、この計画は本年度から開始し、平成31年度を目標に、再編統合に向けた意見の集約が可能となった地域の学校を優先して取り組むこととしています。





(純政会)

やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1 空き家対策・定住対策について

問 昨年からの空き家情報の収集経過についてお尋ねします。

答 空き家情報バンク制度の利用促進については、市報への情報掲載やMYTでも周知を図り、また、市内の不動産業者に対して本制度の説明と借主・売主への紹介依頼を行いました。これにより、53件の情報を得て調査等を行い、今年度中に新たに5件の空き家を登録しました。現在の家屋登録件数は、年度中の成約件数を差し引くと、9件になっています。

問 人口増加による経済効果や地方交付税への影響について、例えば、夫婦と小学生2人が市外から転入し、10年間居住された場合はどのような試算になるのでしょうか。

答 普通交付税は440万円の増加が見込まれます。また、消費支出の全てが美祢市で使われたとして積算すると、3,480万円になります。

問 転入される方への優遇措置を講じることについて、どのようにお考えでしょうか。

答 現在、市役所の内部にプロジェクトチームを立ち上げ、本市が所有する宅地の販売価格の見直し、転入される方々に対する優遇措置等について、検討するよう指示しています。

問 空き家等の適正管理に関する条例制定について、経過をお聞かせ下さい。また、景観法の観点から秋吉台上の荒廃した旧店舗の撤去費用助成などの対策についてお尋ねします。

答 この条例の制定については、平成26年度中に、議案を議会に提出する予定で、来年4月1日からの施行を目指しています。

また、危険老朽空き家の解体除去費用については、補助額、解体後の跡地利用や管理、解体除去後の固定資産税の減免など、税制上の優遇制度等の整備について、実態調査を踏まえた施策の検討を行ってまいります。

2 観光振興と着地型観光について

問 平成25年度の秋芳洞の入洞者数についてお尋ねします。

答 平成25年度末における入洞者数は、秋芳洞が52万5千人で、大正洞・景清洞を合計すると、昨年より11%減の56万人程度になると見込んでいます。入洞者数が減った主な要因として、昨年発生した萩、阿東地域の集中豪雨による災害や出雲大社の大遷宮行事が影響していると思われます。

問 着地型観光についてお尋ねします。

答 着地型観光とは、旅の目的地に所在するものが企画する旅行のことであり、地元の情報に詳しいため、独自性の高い企画旅行の提案が可能です。

本市では、平成25年5月に一般社団法人美祢市観光協会に着地型観光企画運営事業を委託しており、実績として、2つのツアーが行われています。市内旅行業者が募集や主催する旅行を実施し、観光協会は企画などを行っています。

問 秋芳洞周辺を四季折々の花で彩り、観光客を迎えてはいかがでしょうか。

答 本市に来られる方々を、花でお迎えするのは素晴らしいことですが、こういう活動は地元住民主導でないと長続きしません。支援を必要とされれば、行政として協力を惜しむものではありません。



(友善会)
かわもと よしひさ
河本 芳久 議員

1 農業振興について

問 国の農業政策の抜本的な改革に対し、美祢市の対応はどのようになっているか、お尋ねします。

答 昨年12月に農林水産省より農業・農村政策に関する新たな指針として、水田フル活用と米の見直し、日本型直接支払制度の創設等4つの改革が示され、これにスムーズに移行できるよう対処していきます。また、麦、大豆の生産基盤の整備や、飼料米の販路拡大にも積極的に取り組み、地域農業に即した産地づくりを推進していく考えです。

問 農村環境保全に関する農地、農道、水路等の維持活動補助金をもっと多くの方が有効に活用できないかお尋ねします。

答 補助事業の協定面積は1,507haで、耕作可能な農用地の半分に満たない状況です。この要因は、農家の高齢化と事業を推進するリーダーの不足、提出書類に係る事務の煩雑さなどが挙げられます。今後の人材確保、事務の簡素化については、協議や説明の場を設け、事業を推進していきたいと考えています。

2 美祢ジオパーク活動の推進について

問 美祢ジオパーク活動のテーマは、市民から理解しづらい面があると思いますが、テーマの見直しについて、どのようにお考えかお尋ねします。

答 美祢市は石灰石、無煙炭、銅の地下資源に恵まれ、これらの地質は日本列島形成

と深く関わっています。また、その地下資源を利用して地域が発展してきた歴史があります。

これまで、ジオパーク活動のテーマを「白、黒、赤を巡る旅」とし、ジオパーク活動を展開してまいりました。しかし、認定をより確実なものにするため、日本ジオパーク委員会や山口大学などの専門機関にご意見を伺いながら、テーマや活動展開の構想について現在再構築しています。

3 弁天池とその周辺の観光振興策について

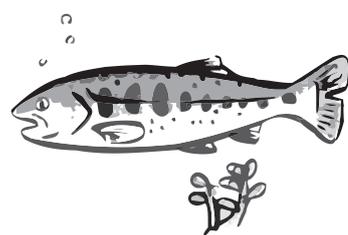
問 別府養マス場は、観光資源として重要な施設ですが、赤字のため経営改善が求められています。今後どのように経営改善されるのかお尋ねします。

答 赤字体質からの脱却は最重要課題の一つであり、安定的な生産体制の確保と販路の開拓を進め、営業活動の強化をさらに図る必要があると考えています。

今後、観光事業全体の施設整備計画や振興計画において養マス場の位置づけを判断し、観光立市としての新たなビジョンと方向性を明確に打ち出すとともに、別府弁天池を中心とした観光施策の中で、経営改善と運営のあり方を検討していきたいと思っています。

問 地域住民が昨年10月に要望された弁天池周辺の環境整備について、今後、どのように取り組まれるのか、お考えをお伺いします。

答 別府^{かた}堅田地区からの要望書は、弁天池を中心とした観光施策や、ジオパーク活動につながる湧水群等の活性化施策として、非常に参考になるものと理解しています。限られた予算ではありますが要望実現に向け、協議・検討してまいりたいと考えています。





(公明党)

おかやま
岡山 たかし
隆 議員

1

地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の改正案から生じる課題に関して

問 退院後、介護認定者の方が、住みなれた地域で医療、介護、生活支援を受けられるよう、在宅医療と介護支援の連携をどのように対応されるのか、お尋ねします。

答 地域包括ケアシステムの推進は、美祢市高齢者保健福祉計画の重点施策です。

介護認定者の方が入院から自宅に帰られた場合、医療機関から地域連携出動の連絡を受けて、地域包括支援センターの職員等が、高齢者一人一人に応じた介護保険サービスを調整するなど、医療と介護の連携を図っています。

問 介護ヘルパーについては、人員・人材の確保が必要です。美祢市に在住することを望み、介護職に命をかける若者を介護士リーダーに育てるため、進学助成金などの支援をはいかがでしょうか。

答 国は介護従事者の処遇改善を実施していますが、現場では介護職員を集めきれない実態もあります。

本市では、看護師の奨学金条例を制定し、一人当たり年間60万円を貸し付けています。介護福祉士の奨学金についても、同様の議論がなされましたが、予算的な問題等もあり、今後制度の対象を広げるかどうかを検討していきたいと思えます。

問 介護予防サービスには、介護予防リハビリ体操などの取り組みがあります。このような介護予防サービスのあり方について、どのようにお考えでしょうか。

答 介護予防サービスについては、高齢者の要介護度上昇を防ぐことを目的に全国各地でさまざまな取り組みが行われています。

本市では、デイサービス事業所や病院等において、高齢者を対象とした介護予防サービス事業を実施しています。

今後、国の制度改正等により、この事業の実施について財政上の問題が出る可能性もありますが、現在のところ、今までどおりの形で事業を続けられると考えています。



2

美祢市公共施設に関する再配置計画の進捗状況に関して

問 美祢市公共施設あり方検討委員会において、公共施設マネジメントをどのように策定するのかお伺いします。

答 この検討委員会には、建築家の視点や地域振興にかかわる考え方などを取り入れるため、専門家の方にも委員として参加していただきます。検討委員会では、市民の皆様の利便性や市の財政事情も踏まえ、公共施設整備計画(案)の策定に取り組みます。

問 公共施設に求められるものは、多目的性や防災減災を考慮した災害時における拠点機能などがあります。今後、施設の機能強化と老朽化対策をどう進めるのか、お尋ねします。

答 施設のバリアフリー化や多機能・多目的性など、市民から求められていることへの対応も含め、公共施設あり方検討委員会で協議していただく予定です。

委員会報告

予算委員会

(平成26年3月10日～12日)

問 シルバー人材センターに委託していた給食配送業務が、年度途中で市の直営となった理由についてお伺いします。

答 シルバー人材センターより、この業務について、労働者派遣法に抵触する恐れがあるため、継続して対応することが困難との申し出があり、市の直営に切り替えたものです。

問 道の駅の指定管理料が追加計上されていますが、その算定方法及び灯油単価の変動状況についてお尋ねします。

答 燃料費支払の決算見込みから、補正額を算出したものです。また、灯油単価については、平成25年4月当初の78円から、今年1月現在では、94円に上昇しています。

問 美祢観光開発の平成25年4月から平成26年1月まで10ヶ月間の収支状況についてお伺いします。

答 収支状況は、700万円程度の赤字になっています。現在、美祢観光開発株式会社では、経営改善計画の策定や検討委員会を立ち上げて経営強化に取り組まれています。

問 美祢市が取り組んでいる六次産業、ミネコレクションの将来構想についてお尋ねします。

答 美祢市にある資源、農林産物を市場に認めていただくためには、ミネコレクションの素晴らしさを市民にご理解いただき、また、市外の方々にも広く知っていただくことが必要です。六次産業の創出やミネコレクション事業については、市民が夢・希望・誇りを持てる美祢市の創造に向け、大きな施策として打ち出しています。

問 観光事業振興のビジョンの中で、美祢市観光協会はどのような位置づけをされているのでしょうか。

答 観光事業が持っているエネルギーは非常に大きいものがあります。行政や市民が一丸となって、市の観光を支える姿になれるまで、その部分を美祢市観光協会に担ってもらいたいと考えています。

問 観光協会への補助金支出に対する個別の補助金交付要綱はありますか。また、補助金の使い道について監査などができる条項になっていますか。

答 この補助金は、美祢市補助金交付規則に基づき支出しています。当規則に監査する規定はありませんが、事業の実施状況について、適宜チェックをしています。

問 美祢市の出生数は大幅に減少しています。子育て支援として、保育料の無料化などすることについて、どのようにお考えですか。

答 子育てされる方が住みやすい環境を今後、さらに整える必要があると考えています。保育料の無料化もその政策の一つですが、将来の市の財政負担などを考慮し、いろいろな施策のバランスをとることが必要だと思っています。

問 来福台について、価格の見直し、一般の集合住宅も建てられるような住宅施策の見直し等はお考えですか。

答 土地開発公社が解散され、現在、来福台は市が所有していますので、具体的な施策について、これから検討したいと思います。

教育民生建設観光委員会…(平成26年3月13日)

問 美祢市すこやか子育て基金はどのような形で使われるのですか。国からの財政支援はありますか。

答 平成26年度に制定する美祢市総合計画後期計画との整合性を図りながら具体的に協議を進めます。基金は市単独財源です。

問 国民健康保険事業の予算総額が毎年増加していますが、今後の試算はされていますか。

答 今後の予測は困難ですが、昨年、保険税の見直しを行ったことにより、財政の安定化は図られています。

問 居宅介護サービスを進めていくための手法や予防事業はどのように展開されますか。

答 居宅介護サービスの推進は、地域包括ケアシステムとして、医療、保健、福祉が一体となって、対象者に応じた様々なサービスを行う活動を強化していきます。予防事業は、国保、教育委員会、健康増進課などと連携し、市民の皆様のご要望も考慮しながら取り組んでいきます。

問 ジオパーク認定に向けた宣伝・広報は、どのように強化していかれますか。

答 出前講座の開催や、MYTの番組編集会議に提案し、総合政策部などとも協議して、宣伝・広報に努めてまいります。

総務企業委員会…(平成26年3月14日)

問 平成25年度の病院医業収益の減は、診療報酬が下がったことによる影響ですか。

答 常勤医師の減少や患者数の減、診療単価の低下により収益が減少したものと考えています。

問 美祢市公共施設のあり方検討委員会条例に関して、検討委員会の構成は、どのようになるのかお尋ねします。

答 公共施設の老朽化が全国的な問題となっており、施設の適正規模・適正配置について地域振興や建築の観点からもご検討いただくため、山口大学など専門機関からの参画をお願いしています。

問 農業集落排水については、負担金や使用料が施設によって違います。これらの統一について、どのようにお考えですか。

答 現在、合併前の条例を基に使用料を徴収していますが、将来的には料金を統一する方向で考えています。

問 秋吉地域し尿処理施設について、一般会計と観光会計の繰り入れで事業が行われているのは、なぜですか。

答 この施設を利用者する方の多くは観光客です。自然保護の立場から観光会計と一般会計との負担割合を決めて繰り入れを行っています。

問 病院内の保育施設設置要望に対する方針についてお伺いします。

答 看護師から強い要望はありませんが、人材確保の観点から重要だと考えています。このことについては、市の保育行政との調和を考えながら引き続き検討したいと思います。



行政視察レポート

議会運営委員会

- ◆日程：平成26年2月5日～6日
- ◆場所：大分県中津市、佐伯市、豊後大野市
- ◆目的：政策研究会（政策討論会）の取り組み、議会改革の取り組み、及び日本ジオパーク認定の取り組み

中津市議会では、議会改革を推進するにあたり、「議会改革マニフェスト」を作成しています。取り組みの中心となるのが、政策研究会や自由討議を開催し、それらの内容を検証することです。

政策研究会に関しては、中心市街地活性化研究会、六次産業推進研究会などのテーマを設けて、議員による会員の募集会則を決定した後に開催されています。また、議員間の自由討議は、一般質問の中から議運で決定したテーマを採り上げて行われており、議会として執行部に対して会期中に政策提言することを可能にしています。

「議会改革マニフェスト」の実現にあたっては、執行部との緊張関係を保持し、政策立案、監視など、議会が住民に期待される機能を果たすため、開かれた信頼のある議会、行動する議会、創る議会を心がけられています。

佐伯市議会では、議会基本条例の制定に至る経緯について、また、条例が制定された後の議会報告会の様子について説明を受けました。



中津市視察

議会報告会は、原則5月と11月の年2回実施されていましたが、回を重ねる度に参加者が減少傾向にあったため、具体的なテーマを設け開催したところ、参加者が増加傾向に転じたとのことでした。

また、この報告会で得た市民の意見や議員からの政策課題を政策研究会等に反映し、討論した結果、議員提案により「佐伯市空き家等の適正な管理に関する条例」を制定、施行される成果を上げられています。

豊後大野市は、昨年9月に日本ジオパークに認定されています。

ここでは、認定に向けた活動状況などについて説明を受け、本市が目指すジオパーク認定に向けた課題に対する意見交換などを行い、ジオパークへの認識をより一層深めることができました。

この視察で持ち帰った先進地の情報を精査し、今後の議会改革のさらなる推進、また、本市が目指すジオパーク認定に繋げられるよう、努めてまいります。



佐伯市視察

総務企業委員会

- ◆日程：平成26年2月18日～19日
- ◆場所：長崎県島原市（雲仙岳災害記念館「がまだすドーム」及び「土石流被災家屋保存公園・大野木場砂防みらい館」）
- ◆目的：島原半島ジオパークの取り組みについて

島原半島ジオパークは、島原市、雲仙市及び南島原市の3市で構成され、2008年に日本ジオパークネットワークに加盟、その翌年には、洞爺湖有珠山ジオパーク（北海道）、糸魚川ジオパーク（新潟県）とともに、日本初の世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されています。

ここでは、雲仙岳を半島の中央に配しており「活火山と人との共生」をテーマに、世界有数の活火山がもたらす災害の歴史と大地の恵みを活用する人々の暮らしに注目した、ジオ活動の取り組みを展開しています。

この度、視察訪問した雲仙岳災害記念館は、島原半島ジオパークの中核施設に位置づけられており、県が建設・管理運営を行う非常に規模の大きい施設でした。

館内において、ジオパーク認定に至るまでの活動状況や、観光振興との関わりなどについて意見交換を行い、島原半島におけるジオ構想の基本理念や将来像について、理解を深めることができました。

ジオパークと観光振興の関わりについては、かつて島原半島も本市と同じく修学旅行のメッカでしたが、近年、旅行客数は落ち込んでおり、ジオパーク認定後の旅行客数の動向も微増ということでした。しかし、ジオ活動を中心に住民と行政が一体となり、自慢できるふるさとづくりの実現を目指している姿が窺え、地域振興については、徐々に効果が現れはじめていたとのことでした。

意見交換ではさらに、本市ジオパーク構想における拠点施設や山口大学との学術連携の位置づけ、また、世界ジオパークを目指すためのアドバイスもいただき、今後本市が取り組むべき課題について、認識を深めることができました。



ジオガイド（土石流被災家屋保存公園）

次に、現地ジオガイドの案内により、その他のジオサイトを視察し、観光客の受け入れ体制やジオサイトとしての見せ方、また、施設間の連携等について、説明を受けました。

この視察で得たことを今後、議会としてしっかり取り上げ、本市ジオパーク認定に向けた住民と行政の一体感の醸成、また、その先の成果に繋げられるよう、より一層の協力をしてまいります。





こいのぼり (道の駅みとう)

平成26年度 第1回議会報告会

18:30 ~ 20:30 (予定)

6月16日(月) 秋吉公民館

6月17日(火) 真長田公民館

6月18日(水) 美祢農林勤労福祉
センター(重安)

どの会場でも
どなたでも
ご参加いただけます。



平成26年第2回(6月)定例会は、右表のように予定しています。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

正式な日程は、6月3日(火)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日程	時間	内容(予定)
6月10日(火)	10:00	本会議(初日)
6月12日(木)	10:00	本会議(一般質問)
6月13日(金)	10:00	本会議(一般質問)
6月16日(月)	9:30	常任委員会
6月17日(火)	9:30	常任委員会
6月18日(水)	9:30	常任委員会
6月26日(木)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

4月1日から消費税率が8%に引き上げられました。その目的は、国の財政を健全化するとともに、年金、医療、介護、子育て支援をはじめとする社会保障制度の維持・強化にあります。将来の社会保障制度維持が困難となることは、だれが見ても判りますが、その困難を乗り越えることができるかどうかは、私たち一人一人が異次元的な発想と知恵をどう導き出すかにかかっているのではないのでしょうか。

「議会だより」につきましても、皆様の貴重なご意見とお知恵をいただきますことを期待しています。(岡山)

議会だより編集委員会

委員長	秋枝 秀稔
副委員長	三好 睦子
委員	萬代 泰生
委員	岡山 隆
委員	馬屋原眞一
委員	俵 薫



美祢市議会事務局

〒759-2292 美祢市大嶺町東分326-1

TEL.0837-52-1117 FAX.0837-52-1180

美祢市ホームページ <http://www2.city.mine.lg.jp/>